

2024年2月

アルゼンチンぶどう果汁製造工場における人権影響評価実施報告

キリングroupは、「キリングroup持続可能な調達方針」^{※1}及び「キリングgroup持続可能なサプライヤー規範」^{※2}に基づき、キリングgroupの調達品について外部専門家の助言も受け、人権リスク並びに事業影響度の軸で再評価しました。そしてその評価結果をもとに、2022年中計のCSVコミットメントの指標として、人権リスクの高い調達品のサプライチェーンに対する継続的な人権デューデリジェンスの実施を掲げています。2023年度においてはぶどう果汁が選定され、その中で国別人権リスクが高い、アルゼンチンのサプライチェーンにおける人権影響評価（HRIA^{※3}）を実施しました。現地監査は、第三者機関である Preferred by Nature^{※4}によって行われ、2024年11月に監査結果報告書を受領しました。

※1 [「キリングgroup持続可能な調達方針」](#) ※2 [「キリングgroup持続可能なサプライヤー規範」](#)

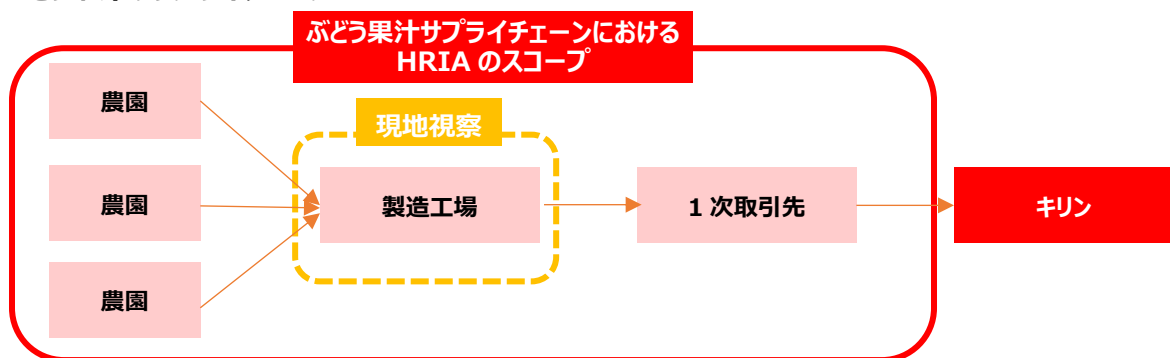
※3 HRIA : Human Rights Impact Assessment

※4 [Preferred by Nature](#) :100か国以上の国々で、人、自然、気候に利益をもたらすより良い土地管理と商慣行を支援する非営利団体

1. HRIA スコープと手法

今回の HRIA は、アルゼンチンのサプライチェーンのぶどう果汁製造工場を対象とし、その中から調達数量の多い製造工場を選定し、実施しました。現地監査は直接の取引先である1次取引先、並びに現地製造工場サプライヤーの協力を得て、「キリングgroup持続可能なサプライヤー規範」に沿った項目で、Preferred by Nature の監査員により行われました。

ぶどう果汁のサプライチェーン



<今回の人権影響評価>
・チェックリストによるデスクトップ調査
(農園からの原材料受入や製造工場の調達方針を含む確認)
・現地での直接観察
・労働者へのインタビュー

<1次取引先>
・キリングgroup持続可能なサプライヤー規範の説明
・サプライヤー規範チェックリスト及び承諾書の提出
・共通 SAQ の実施
・サプライヤー説明会

2. 対象範囲

アルゼンチン メンドーサ州のぶどう果汁製造工場。

3. 評価項目

評価項目は、キリングroup持続可能なサプライヤー規範の「安心安全」「人権」「安全衛生・健康」「環境」「誠実なビジネス」の5つの柱を基本とした評価を行いました。

4. 評価方法

「キリングroup持続可能なサプライヤー規範」に沿った評価チェックリストを作成し、実地監査に使用しました。評価は以下2つのステップで実施しました。

- ① デスクトップ調査として、現地訪問前に評価チェックシートを用いて製造工場の方針と手順を確認。
- ② Preferred by Nature の監査チームによる1.5日間の現地評価・直接観察を実施し、労働者（男女）、労働組合代表、監督者、委員会代表、施設・部門責任者へのインタビューとエビデンスを確認。

5. 評価結果

評価項目のうち、品質マネジメントシステムや、環境認証の取り組みにおいて、積極的に良い取り組みが実施されていることがわかりました。いくつかの文書整備、サプライヤーの管理の仕組みに指摘があったものの、法令違反など重大な違反は見つかりませんでした。

6. ステークホルダーダイアログ

監査における監査員インタビューとは別に、ぶどう果汁加工工場の複数人の労働者に対して、労働安全衛生をテーマに、対面とオンラインを通じて対話を実施しました。労働者からは地震や火災に備えたトレーニング実施の工夫面や、勤務時間の柔軟性に対し、満足しているといったヒアリング結果が得られました。

7. 今後のステップ

キリングgroupは発見された課題に対して事実確認を行うべく、1次取引先へ監査報告書を共有するとともに、指摘事項に対して、改善に向けた対応方針を策定し、コミュニケーションを開始、サプライヤー管理の方法について、すでに改善に動き出しています。今後は、以下のスケジュールで取り組みを進めていきます。今回は、なお、取り組みの進捗については当社HP上で適時開示します。

対応策	実施時期
・1次取引先、製造工場への監査報告書の共有と改善依頼	2023年12月（完了）
・社内対応方針・指摘事項の改善取り組みの対策を策定	2024年1月（完了）
・改善取り組みの進捗確認	2024年1月～
・改善取り組みの進捗報告（当社HPにて）	2024年6月